

《重要性と必要性》

みなさん、“予防接種”と聞いて、どのようなイメージを思い浮かべますか？麻疹やおたふく風邪ワクチンなど、主に幼児が受けるもの、といったイメージをお持ちの方が多いのではないでしょうか。

しかし、留学や旅行で海外に行く際、次の二つの理由から、予防接種は非常に重要な必要となります。自分自身が感染症にかかりないため、また帰国後、家族や周囲の人たちへの感染を防止するためと、入国時に予防接種済み証明書を要求する国や地域があるためです。

海外へ留学する場合、要求される予防接種を受けていないと入学など拒否されることもあるので、自分の留学先では予防接種が必要か、その場合どの種類のワクチンを接種すればよいか、きちんと調べておくことが大切です。

《いつ・どこで受けられるか》

札幌市内では、市立札幌病院で、海外渡航のための予防接種を実施しています。

実施日：火曜日～木曜日 8:45～11:30

実施している予防接種は以下の通りです。

2種混合(ジフテリア・破傷風)	B型肝炎
3種混合(ジフテリア・破傷風・百日咳)	A型肝炎
麻しん	日本脳炎
風しん	狂犬病
麻しん風しん混合ワクチン	マラリア
水痘	ジフテリア
破傷風	BCG
おたふく風邪	コレラ

料金など詳細は、市立札幌病院 HP で確認できます。

(<http://www.city.sapporo.jp/hospital/medical/injection/index.html>)

《接種の計画は余裕をもって》

まずは、入学先や在日大使館に問い合わせ、必要な予防接種があるかどうか確認しましょう。一種類のワクチンでも、数ヶ月おきに複数回、接種しなければならないものもあります。最低でも、渡航の 2、3 ヶ月前には、接種の予約を取るようにしましょう。